

新潟県畜産経営指導指標を改訂

畜産を取り巻く環境の大きな変化に対応して、早急に家畜の生産性向上が必要であることから、3年前の平成16年度に改訂を行った新潟県畜産経営指導指標値と新しい知見を取り入れた技術ポイントの見直しを行いました。各畜種の概要は以下のとおりです。

1 酪農経営

所得確保対策として、受精卵移植技術を活用した和牛子牛生産販売を取り入れて、収入の向上を図るとともに、稲発酵粗飼料の積極的な利用により購入粗飼料費を節減することにポイントを置きました。

特に生産性の向上では、生乳中の体細胞数を16万個以下に低減し、経産牛1頭当たり年間乳量を9,300kgに向上することや、生乳の安全・安心の確保に重点を置きました。

区 分	旧指標値	新指標値
平均分娩間隔	13.5ヵ月以内	13.5ヵ月以内
経産牛1頭年間乳量	8,800kg以上	9,300kg以上
体細胞数	20万個以下	16万個以下
経産牛1頭年間濃厚飼料給与量	3,210kg	3,425kg
経産牛1頭年間粗飼料給与量	4,880kg	4,900kg
乳飼料比 (経産牛当たり)	40%以下	45%以下
所得率	20%以上	20%以上

2 肉用牛経営

(1)和牛繁殖経営

子牛事故率を3%に低減しロスをなくし、商品価値の高い子牛を育成することと、稲発酵粗飼料の活用等により、繁殖牛の1年1産を確実に達成することに重点を置きました。

区 分	旧指標値	新指標値
平均分娩間隔	12ヵ月以内	12ヵ月以内
子牛出荷月齢	9ヵ月齢	9ヵ月齢
子牛生時体重	260kg以上	260kg以上
雌子牛	260kg以上	260kg以上
雄子牛	290kg以上	290kg以上
子牛事故率	5%以内	3%以内
所得率	35%以上	35%以上

(2)黒毛和種肥育経営

バランス良く発育した素牛導入と導入後の健康管理・衛生管理の徹底、肥育時期に応じた産肉生理理論に基づいた飼料給与により、枝肉重量470kg以上、格付4等級以上率70%を達成することに重点を置きました。

区 分	旧指標値	新指標値
出荷月齢	29.0ヵ月以内	29.0ヵ月以内
枝肉重量	470kg以上	470kg以上
1日当たり増体重	0.78kg以上	0.78kg以上
格付4等級以上率	70%以上	70%以上
事故率	2%以下	2%以下
所得率	10%以上	10%以上

(3)交雑種肥育経営

初乳を飲んだ活力のある子牛の導入と育成期の腹作りにより発育の向上を図り、枝肉重量460kg以上、格付3等級以上率50%を達成することに重点を置きました。

区 分	旧指標値	新指標値
出荷月齢	24.0ヵ月以内	24.0ヵ月以内
枝肉重量	460kg以上	460kg以上
1日当たり増体重	1.00kg以上	1.00kg以上
格付3等級以上率	60%以上	50%以上
事故率	3%以内	3%以内
所得率	12%以上	10%以上

3 養豚経営

年間離乳子豚頭数23頭以上を達成するため、母豚の栄養管理の徹底や超音波妊娠診断の実施、HACCP方式の導入等による疾病予防に重点を置きました。また、肥育期には適正な群編成と飼育密度を確保して生産性の向上を図るとともに、出荷時の体重測定の実行等により、出荷体重115kg、1日当たり増体重670g以上、枝肉1kg当たり格落ち金額14円以下を達成することに重点を置きました。

区 分	旧指標値	新指標値
繁殖部門		
分娩間隔	150日	150日
哺乳開始頭数	26頭以上	26頭以上
離乳頭数	23頭以上	23頭以上
肥育部門		
出荷体重	115kg	115kg
1日当たり増体量	650g以上	670g以上
事故率	3.0%以内	3.0%以内
枝肉1kg当たり格落ち金額	17円以下	14円以下
飼料要求率	2.80以下	2.78以下
所得率	15%以上	15%以上